授業科目	＊ウィメンズヘルスケア					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	古賀　玉緒、前田　幸、山田　恵						
授業概要	教員は総合病院・クリニック・助産院などの施設における助産師経験および臨地実習の指導経験をいかして講義を行う。 助産師はすべての女性およびその家族の健康増進にむけた支援が求められる。 本科目では、講義の他、事前学習や課題、ディスカッションなど取り入れながら進めていく。その中で、ライフステージ各期の身体的・心理社会的な特徴や変化に関する基礎的知識をふまえ、リプロダクティブヘルス/ライツの重要性、女性がおかれている社会状況やジェンダーにまつわる健康、特別に支援を要する女性の健康、社会における多様性に関する健康などウイメンズヘルス全般について学修する。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. ライフステージ各期における対象の特徴を説明できる。 2. 特別に支援を要する対象の特徴を説明できる。 3. ライフステージ各期のウイメンズヘルスケアについて根拠をふまえて説明できる。 4. ウイメンズヘルスケアに関する事前学習や課題、ディスカッション等に意欲的に取り組むことができる。 5. ウイメンズヘルスケアを実践するうえで助産師として必要な態度について述べることができる。
理想的レベル	標準的レベルに到達したうえで、現代社会における女性を取り巻く状況や自分自身の体調に目を向け、助産師として必要な態度について自分の意見を述べることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート	25%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	15%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	MI21208J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
・婦人体温計を各自準備し、ＢＢＴを測定し、レポートにまとめて提出する。（詳細・提出期限は別途提示する） ・進行４まで終了後にレポートを作成する。（詳細は別途提示する）	4

授業計画

第１回	生涯における女性のケア（1）　（古賀　玉緒）

	ウイメンズヘルスケアの概論 ・女性のライフステージの特徴と健康課題について解説する。 　女性の生涯と社会の移り変わりとの関連および健康課題に関する社会資源の情報及び支援について
第２回	生涯における女性のケア（2）（山田　恵） 思春期女性のケア ・思春期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 　思春期のセクシュアリティの発達について 　二次性徴に関する正しい知識の獲得及び対応について 　プレコンセプションケアについて 　性感染症予防の啓発について-包括的性教育をふまえて- 　教育関係者や専門職との連携や家族への支援について
第３回	生涯における女性のケア（3）（山田　恵） 成熟期女性のケア ・成熟期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 　互いを尊重したパートナーとの関係の構築、DV（性暴力）を予防する支援について 　DV（性暴力等）被害の早期発見と相談者への支援について 　不妊治療を受けている女性・夫婦・カップル等の自己決定に向けた支援について 　家族を含めた支援と他機関と連携のする必要性について
第４回	生涯における女性のケア（4）（古賀　玉緒） 中高年期の女性のケア ・更年期・老年期の女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 　更年期・老年期の特徴および健康問題とヘルスケアについて
第５回	特別に支援を要する女性へのケア（１） （前田　幸） ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 　性科学の概念について
第６回	特別に支援を要する女性へのケア（２） （前田　幸） ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 　性の多様性について 女性の健康課題に対する助産師の役割を学ぶ。（古賀　玉緒） ・事例を用いて各ライフステージにある女性の健康課題に対する支援について意見交換を行う。
第７回	特別に支援を要する女性へのケア（３）（外部講師） ・不妊に悩む女性への支援について解説する。 　不妊に関する現状と治療について
第８回	特別に支援を要する女性へのケア（４）（外部講師） ・不妊治療を受けいている女性・夫婦・カップル等の支援について解説する。

	自己決定に向けた支援について 提供する不妊検査・治療等の社会資源の情報及び支援について 家族を含めた支援と他機関と連携する必要性について不妊治療を受ける女性のケアについて解説する。
テキスト	助産師基礎教育テキスト 2024 年版第２巻　ウイメンズヘルスケア　吉沢豊予子編著　日本看護協会出版社 病気がみえる Vol.9 婦人科　第４版,井上裕美他監,MEDIC MEDIA 2018
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産学講座 2　基礎助産学[2]　母子の基礎科学　　第 6 版　我部山キヨ子他編　医学書院 助産学講座 3　基礎助産学[3]　母子の健康科学　第 6 版　我部山キヨ子他編　医学書院 助産学講座 4　基礎助産学[4]　母子の心理・社会学　第６版　我部山キヨ子他編　医学書院 助産学講座 5　助産診断技術学Ⅰ　第 6 版　堀内成子他編　医学書院 助産学講座 9　地域母子保健・国際母子保健　第 6 版　我部山キヨ子他編　医学書院 助産師による思春期の健康教育　公益社団法人　日本助産師会 妊心　蔵本武志著　文芸社 随時資料を配布します。 教材：婦人体温計（各自準備）
課題に対するフィードバックの方法	提出物はコメントをして返却します。
学生へのメッセージ・コメント	助産の重要な専門科目であり、広い分野に応用できる内容です。。 テキストは熟読し、さらにメディアや文献などからも女性の健康について情報を収集し、思春期・成熟期・更年期および老年期各期の女性の健康問題や健康課題について、自分の考えをまとめ述べられるよう準備しておきましょう。 婦人体温計を各自準備してください。

＊ウィメンズヘルスケア